

第9回横浜シーサイドトライアスロン大会・トランジション運営要領

トランジション・チーフ 高柳 佳恵

1. 運営スタッフ

- ・チーフ 高柳 佳恵 トランジション統括 090-1696-0102
 - ・サブチーフ 青山 英司 トランジション統括 (乗車・降車ラインエリア) - -
 - ・審判員 佐々木 秀一 エリア内の全体監視 (主にスイム入口付近) ※
元嶋 民夫 エリア内の全体監視 (主にバイク出口付近) ※
田 福順 エリア内の全体監視 (主にラン出口付近) ※
石井 啓礼 乗車ライン
大谷 圭吾 降車ライン
- ※状況を判断して適宜多忙なポジションを支援お願いします。
- ・技術代表 岩田 聖市 090-4173-3765
 - ・審判長 宮城 信隆 090- -

2. 競技規則について

本大会は(公社)日本トライアスロン連合競技規則および以下のローカルルールが適用されます。

- ・本大会において「スイムスキップ制度」が導入されています。対象者はスイム会場からのスタートとなりますので特別な対応はありませんが、各グループのスイムフィッシュ後にスタートします。
- ・ペットボトル装着は、安全上の理由により禁止とします。発見した場合はその場で注意喚起し、バイク競技に使用しないよう指導してください。ただし、ペットボトル専用ゲージを用い、キャップを取り外さなくても飲める物に交換してある場合には認めます。
- ・乗車/降車違反、ヘルメットやストラップの装着違反については厳重に注意し、やり直させてください。
- ・前空き前ファスナー付ウェアの着用は可ですが、前ファスナーを下げた状態のままでは競技を行うことはできません。発見した場合は注意してください。

- ・固定ギア(ピスト)バイクや前後にブレーキの装置がないバイクでの参加は認められません。
- ・スタンドなど転倒時に危険と思われる突起物を装着したバイクでの出場は認められていません。見つけた場合は、取り外す等の指導をお願いします。

3. トランジション内での注意事項

- ・トランジションエリアは選手以外入場禁止です。入場の際にはリストバンドを確認してください。
- ・競技者エリア入場の際、バイクやヘルメットのチェックをお願いします。レースナンバーシールの添付位置についても併せて確認してください。不適合の場合は、高柳か青木まで連絡してください。(ヘルメットは前面と右側。バイクは左側。忘れた場合、総合案内テントを案内してください。)
- ・バイクのセッティングはルール通りであるか確認してください。また、競技以外の荷物がある場合は、コインロッカーまたは有料手荷物預り所に預けるよう指示してください。
- ・ヘルメットのストラップ装脱着、レースナンバーの前後位置などの確認をお願いします。
- ・トランジションエリアのクローズ時間内は、原則として競技中の選手以外入場禁止です。緊急時や止むを得ない場合は、競技の間合いを見ながら入場者をコントロールしてください。
- ・トランジションエリアは 7:30~9:30 までトライアスロン参加者向けにオープンします。出入口は「ランスタート」のみとします。
11:00~11:45 までは、アクアスロン参加者対応のためオープンします。当該時間はトライアスロンの競技中ですので、入場者が競技の障害とならないよう競技の間合いを見ながらコントロールしてください。出入口は「スイム入口」のみとします。
- ・バイクピックアップは、13:20 から一斉に開始する予定です。出入口は「ランスタート」のみとします。ピックアップする際は、レース No.またはリストバンドと、バイク No.またはヘルメット No.の照合をしてください。(出入口の変更の場合は別途指示あり)
- ・刺青(タトゥ)は、競技中露出させないようウェアで全て隠すよう指導してください。手首まである場合などは、長袖のウェアで隠して競技をさせてください。ワンポイントのタトゥもテーピング等で見えないように工夫させてください。
- ・シューズを履かずに裸足のまま競技することはできませんので、発見した場合はシューズを履かせてください。
- ・ヘッドフォンやイヤホン、カメラを装着したまま競技を行うことは禁止されています。見つけた場合は使用しないよう指導してください。(預かることがないようにご注意ください。)

- ・トランジション内はバイク乗車禁止です。乗車ラインを超えてから乗車、降車ライン手前で下車させてください。
- ・バイクスタート前は必ずラックからバイクを外す前にヘルメットのストラップを締め、バイク終了時はバイクをラックに掛けてからヘルメットのストラップを外すように指導してください。
- ・バイクスタートとランスタートの出口を間違える選手と、選手同士が接触しそうになるケースが見受けられますので、可能な限り注意喚起の声がけをしてください。
- ・バイク降車からトランジションまでのコース上に入ってくる観客が多くいますので、見つけた場合はコース上から出るよう注意喚起してください。
- ・8:30-8:45（集合バイク入口付近）にてパラトライアスロンバイク試走が実施されます。
- ・パラトライアスロンは7名（予定）です。（内訳は後日お知らせ）
- ・ゲストアスリートは、庭田清美選手がAグループ（第2W）でスイムスタートします。

4. 基本事項

- ・本大会は初心者の多い大会です。従って審判員は様々なポイントで丁寧に解り易く競技者に接することを心がけてください。
- ・安全は全てに優先します。傷病者を発見したら、他の競技者への2次災害防止にも配慮し、様態の確認傷病者の搬送を行ってください。傷病者が意識・呼吸のない場合は、直ちに119番通報し、大会本部へ無線連絡してください。それ以外の傷病者を発見した場合も、大会本部に連絡しその指示に従って対応してください。無線がない場合は、高柳か青山まで連絡してください。
- ・タイムスケジュール、各カテゴリーのスイム・バイク・ランの周回数とコース、トイレ、本部、コインロッカー、有料手荷物預り所等、選手に聞かれても答えられるようにしてください。
- ・計測はアンクルバンドで行います。個人の周回確認は自己責任で行うよう回答してください。
- ・配置に付きましたらコースの設営状況を確認し、必要に応じて競技実施の観点からコーンや案内板などのセッティングをしてください。
- ・リタイア者の対応は、アンクルバンドを回収し、レースナンバー、氏名を控えるとともに、無線等で審判長にレースナンバーを知らせてください。無線のない場合は、高柳か青山まで連絡してください。
- ・競技会場は一般の方も利用されています。協力をお願いするというスタンスで一般の方と接してください。

以上